



Future  
From  
Fukushima.

ふくしまから  
はじめよう。

特集

# 進む!「拠点」整備

～ふくしまから新たな流れを創るために～

新しい福島創造を目指すため、本県の復興には、単なる復旧にとどまらない先駆けとなる取り組みが必要です。県内各地で進んでいる、さまざまな分野の研究開発・産業創出拠点の整備は、そうした復興の推進力として期待されます。また、新たな産業を創ることで雇用を増やしていくなど、皆さんの生活をよりよくすることを目指す「拠点」でもあるのです。



「拠点」は  
さまざまな分野で  
みんなの生活を  
よくしていくために  
役立つ研究や活動  
を行っていくんだね。



知事メッセージ

ふくしまから  
未来を築きはじめよう。

福島県では「夢・希望・笑顔に満ちた『新生ふくしま』」を基本目標に掲げ、その実現に向けてさまざまな施策を進めています。

中でも拠点の整備は、未来の福島「核」となる極めて重要な取り組みです。本県は震災、原発事故という、世界に類を見ない複合災害を経験しました。だからこそ、福島にしかできないことがあると私は思います。

未曾有の災害の教訓を踏まえ、世界に先駆けた研究・開発・事業化によって、新しい社会、理想の社会の在り方をこの福島の地から発信していく、そうした「ふくしまからはじまる」取り組みを、これらの拠点からしっかりと進めてまいります。



福島県知事 佐藤 雄平



ふくしまからはじめよう。  
ゆめだより・2014.6月号

読者からのお便り

ゆめだよりを読むことで、県政の取り組みが少しずつ分かるようになりました。(郡山市 70代 男性)

**②福島県 環境創造センター**  
三春町・南相馬市

放射線物質により汚染された環境を早急に回復し、将来にわたり安心して暮らせる環境を創造するための調査研究拠点。三春町の施設では子どもたちへの放射線の学習なども行います。



平成26年度  
構想 設計 着工 完成

**①ふくしま国際医療科学センター**  
福島市

将来にわたり、県民の皆さんの健康を守っていくため、放射線医学にかかる最先端の研究・診察の拠点を整備します。



平成26年度  
構想 設計 着工 完成  
(平成28年度 全面稼働予定)



本誌のタイトルにもなっている福島県のスローガン『ふくしまからはじめよう。』には、「ひとりひとりが復興に向けて歩み始めよう。そして、ふくしまから新たな流れを創っていく。」という未来への意志が込められています。今回は、「新生ふくしま」の創造を目指す未来に向けた取り組みの中から、主な拠点の整備について紹介します。



「拠点」では  
新しい福島を創るために  
どんなことをしていくだろう。  
これからの私たちの生活に  
どのように関わっていくのかな。

**⑤会津大学 復興支援センター (先端ICTラボ)**  
会津若松市

ICT (情報通信技術) を利活用した企業の集積や、人材の育成に取り組むとともに、先端研究を進め、新しいICT産業を作り出すための研究開発などを行います。



平成26年度  
構想 設計 着工 完成  
(平成27年度 供用開始予定)

**④浜地域農業再生研究センター (仮称)**  
南相馬市

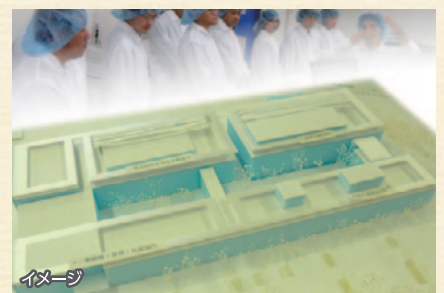
避難地域等の営農再開・農業再生に向け、現地の生産環境で調査研究を行い、地域の課題の解決を図ります。



平成26年度  
構想 設計 着工 完成

**③福島県医療機器開発・安全性評価センター (仮称)**  
郡山市

医療機器の開発から事業化までの一体的な支援を行い、産業の振興や雇用の創出につなげていきます。



平成26年度  
構想 設計 着工 完成  
(平成28年度 早期の開所を目指す)

インタビュー



地域の復興に  
貢献していきたい

福島再生可能エネルギー  
研究所  
おおわだのよしろう  
大和田野 芳郎 所長

この研究拠点にいろいろな人が集まる、新しい技術を身につけた人が育っていく、それらを通して、新しい産業が福島に育っていく、そういった形で地域の復興に貢献していきたいです。福島大学での講義もすでに実施しています。地域の企業との共同研究も始まります。実例も出てきているので、地域企業の皆さんとの連携をどんどん広げていきたいですね。

この施設には、展望台もあります。今後、小中学生の社会見学などで訪れる方が増えるでしょう。再生可能エネルギーは、まだまだ研究・技術開発が必要な段階です。お子さんたちがそれらの課題にも目を向けて、科学技術に挑戦しよう、将来の社会について議論しようと思うきっかけとなり、未来につながっていけばと思います。

4月オープン

新しい  
技術を  
創出・発信

⑥産総研  
福島再生可能  
エネルギー研究所  
郡山市

産業技術総合研究所の福島再生可能エネルギー研究所が今年4月に開所しました。国内外から集まる人々と共に新しい技術を生みだし、発信することを旨とした拠点です。

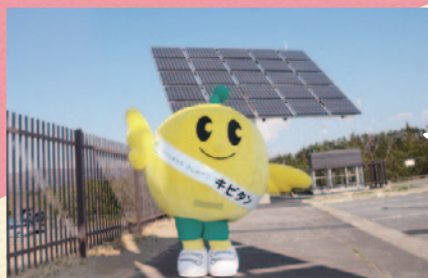


福島の  
未来の  
ために

⑧福島空港  
メガソーラー

須賀川市・玉川村

本県の再生可能エネルギー事業の拠点となる福島空港メガソーラーが「県民参加型ファンド」を活用して完成。4月14日に竣工式を行いました。福島空港内には、エネルギー体験コーナーもできましたので、ぜひ一度ご覧ください。



太陽光や風力など、  
再生可能エネルギーを使った  
先駆けとなる取り組みを  
ふくしまから世界に  
発信していくんだね。

期待の  
新  
エネルギー

⑦浮体式洋上風力  
発電実証実験事業

広野・檜葉沖

世界最大級の浮体式洋上風力発電システムの実証実験を広野・檜葉沖で実施しています。今後さらに、7,000キロワット級の風車2基を設置する予定です。



提供:福島洋上風力コンソーシアム

